

地域に根ざした消防団を目指して

〈執筆〉西消防団榎谷支団本部

横山顕介・高尾秀正

今回のわれらがヒーローは、西消防団榎谷支団長の高尾淳さんを紹介したいと思います。

榎谷町は南北に細長く、東西は西神ニュータウンと西神南ニュータウンに挟まれた田園地域で、国指定文化財の如意寺や戦国時代の山城で、平成21年2月に神戸市指定史跡になった衣笠城など、歴史的建造物が残る自然豊かな土地です。榎谷支団は、この榎谷町とニュータウンの一部を活動範囲として、防火・防災活動に取り組んでいます。



西消防団榎谷支団

支団長 高尾 淳 さん

高尾支団長は、昭和56年4月に榎谷消防団寺谷分団に入団され、昭和63年4月に支団本部分団長に昇任されるまでの間、地元から西消防団のポンプ操法大会に出場し、チームの優秀な成績に貢献され、消防活動も積極的に行ってこられました。

そして、前・平山支団長が急逝された平成20年10月、女性消防団員を含む145名の榎谷支団を率いる支団長に就任されました。

高尾支団長は、地域での信頼も厚く、今年の春までは自治会長を務め、現在でも要職を兼務されるなど、多忙な中、多方面で活躍されています。

また、職場であるJA兵庫六甲では、育苗の専門家としての豊富な知識で定評があり、リーダー



として多くの部下を束ねておられます。

この高尾支団長をリーダーとする西消防団榎谷支団は、消防団の行事である出初式、神戸まつりの警備、サントリーグルフのボランティア、榎谷小学校の納涼会、榎谷川まつり、ポンプ操法大会、榎谷町防災訓練、年末特別警戒など、地元の行事から神戸市の行事に至るまで、さまざまな形で消防団活動を展開しています。

和気あいあいとして、近所同士の仲良しグループで構成されているかのような消防団で、最近では若い団員も増え、消防団全体の活性化もされてきています。

今後も、高尾支団長のリーダーシップのもと、榎谷支団団員が力を合わせ、わが町、わがふるさとを守ることを念頭に、消防団活動を通して地域に根付き、誰からも信頼される消防団を目指していきたいと思っています。